

第3学年 社会科学習指導案

日 時 令和2年11月27日（金）

対 象 墨田区立第三吾嬬小学校

第3学年2組 31名

授業者 A S

<目指す児童像>

シンキング・サイクルを活用して生涯にわたって主体的に学ぼうとする児童

単元名 わたしたちの市の歩み（教育出版 小学社会3年）

○かわる道具とくらし 9時間

○市のうつりかわり 9時間 全18時間

小単元名 かわる道具とくらし （9時間）

小単元の目標

- ・生活の中で使われる道具の変化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力、考えたことを表現する力を養う。
- ・学習問題を追及・解決するために、**道具の変化について意欲的に調べ、暮らしの変化と人々の思いとの関連を粘り強く考え**、調べたことや考えたことを発表しようとする主体的な学習態度を養う。

小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① ロイロノートや手書きの表などを活用して調べたことをまとめる。 ② 道具がもたらした人々の生活の変化について理解する。	① 道具の変化に着目して、その道具を使っていた人々の生活の様子や気持ちを考え、まとめたり、発表したりする。 ② それぞれが、調べた道具の変化を比較したり、統合したりして、その道具を使っていた人々の生活の様子や気持ちを考え、まとめたり、発表したりする。	① 生活の中で使われる道具などに着目して、問いを見出す。 ② 自分の課題について、主体的に情報を集める。

小単元の指導計画（9時間扱い）

時	○学習活動				◇支援・手だて ◆【評価】
	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	
1	道具の変化について調べ、使っていた人々の生活の変化や気持ちを考えよう。				
2	<p>①（洗濯板を見せる。） これは、何に使う道具でしょうか。</p> <p>④洗濯板を使って雑巾を洗ってみよう。</p> <p>⑦今はどのように洗濯をしているのだろう。</p> <p>⑪全自動洗濯機の前に自動ではない洗濯機があったことに気付かせ、更に課題を見出させる。</p>	<p>②知っていることや予想したことを発表し合う。</p> <p>⑤実際に洗濯板を使って雑巾を洗う。</p> <p>⑧知っていることを発表し合う。</p>	<p>③洗濯に使う道具であることを知る。</p> <p>⑨今は、全自動洗濯機を使い、洗濯物を入れてスイッチを入れるだけでよいことを確認する。</p>	<p>⑥使ってみた感想を発表し合う。</p> <p>⑩感想をまとめる。 ・今は、全自動洗濯機になって、手間も時間もかからず便利になった。</p>	<p>◇実物を見せて興味を持ったところで、最初の課題は教師が提示する。</p> <p>◇洗濯板で洗う大変さを実感させる。</p> <p>◇洗濯板体験を思い出させて、全自動洗濯機ができて便利になったこと理解させる。</p> <p>◆洗濯板が全自動洗濯機になるまでの変化に関心を待ち、新たな課題を見出させる。</p> <p>【主①】</p>
家庭学習	○洗濯板と全自動洗濯機の間になどんな道具があったのか。	○家族やインターネット、本から情報を集める。			◆集めた情報を集め、ワークシートにまとめる。【主②】
3	洗濯機がどのような変化をしてきたのか考えよう。				
		①調べた情報を全体で発表し合い、共有する。	②発表されたことを教師が中心となって、図を使って黒板にまとめる。	洗濯板→洗濯（ローラー付）→2層式（脱水機付）→1層式（全自動）→全自動乾燥機付洗濯機	

	③それぞれの機械を使っていた人々の暮らしの様子や気持ちを考えよう。			④ノートに書いた後、全体で発表する。 ・洗濯する時間が短くなった。 ・別の仕事ができる。 ・冷たい水を触らなくてよくなった。	◇洗濯板体験で大変だったことを思い出させる。 ◆暮らしが便利になった着目し、使っていた人々の気持ちを、ノートにまとめられた。 【思①】
4	スマートフォンには、どのような機能があるのか考えよう。				◇この7つ以外の機能もあるが、今後の展開を考慮してこの7つに絞って進める。 ◆自分で調べていく課題を決め、次時までには調べる。【主②】 ◇グループを作る。(4人前後)
	①スマートフォンには、どんな機能があるかな。 ④それぞれの道具がどのように変化してきたのか。 ⑥自分が調べる道具がどのように変化してきたのか。	②知っていることを発表し合い黒板にまとめる。	③黒板にまとめる。 ・電話、カメラ、ゲーム機、音楽再生、テレビメール、時計など。	⑤予想したことをノートにまとめた後、発表する。	
家庭学習		○家族やインターネット、本から情報を集める。			◆集めた情報を集め、ワークシートにまとめる。【主②】
5	スマートフォンのそれぞれの機能は、どのような道具が変化してきたのか考えよう。				
		①グループ内で調べてきた情報を発表し合うことで新たな情報を得る。	②集まった情報をグループで話し合って古い順に並べ変える。	③わかったこと、次の自分の課題をまとめた後、全体に発表する。	◇iPad を使って並べ替えをさせる。 ◆調べてきた道具を古い順に並べ替え、その根拠が言える。 【知②】

家庭学習	④それぞれの道具の変化により、生活がどのように便利になってきたのか。	○家族やインターネット、本から情報を集める。			◆道具の変化により、どのように暮らしが便利になったかを調べる。【主②】
6 本時	昔の道具の良さを見つけ、暮らしがどのように変化したのかを考えよう。				◆その道具により、どのように暮らしが便利になったかを理解している。【知②】
7 8	①発表内容や方法を決め、模造紙にまとめる。	②追加情報があれば共有する。	③必要な情報を精選する。	④模造紙にまとめていく。	◇以下のことに留意させる。 ・絵や写真を使う ・できるだけ文字は少なくする。 ◆絵や記号などを使って分かりやすくまとめている。【知①】
9	発表を聞いて、道具や暮らしの変化や人々の願いについて考えよう。				◆道具の変化が人々の願いをどのように叶えてきたか考える。【思②】 ◆道具の進化から、当時の人々の暮らしの様子を知る。【知②】
	①それぞれの道具の同じところや違うところを考える。	②グループごとに道具の進化と、それにより生活がどのように便利になってきたのか発表し合う。	③自分たちが調べた内容と比較しながら発表を聞き、わかったことや考えたことをノートにまとめる。		

研究主題に迫るための手だて

【研究主題】 授業における学習過程の研究

～シンキング・サイクルの活用による「見方・考え方」の習得～

〈目指す児童像〉

課題について調べたり、友達の発表を聞いたりすることで、多様な見方ができるようになったり、新たな課題を見出したりすることができる。

1 シンキング・サイクルを活用するための手だて

(1) シンキング・サイクルの位置付け（捉え方）

- 「課題の設定」 単元指導計画に合わせて教師が設定する課題を解決していく中で、児童が自分たちの興味関心に合わせて課題を設定し解決する活動が繰り返し行えるように学習を進めていく。中学年では、意欲的に学習に取り組ませるために、自分たちで課題を見出す活動を重視した。
- 「情報の収集」 家庭学習で保護者や地域の人に聞いたり、インターネットや本で調べたりして情報を集めることとだけでなく、それぞれが集めた情報をグループやクラス全体で情報を共有することも、情報収集として大切な役割をなすと考えた。
- 「整理・分析」 中学年の児童にとって、自分たちが集めた情報を整理・分析することは難しい活動である。そこで、話し合いのポイント絞ることで、児童が情報を整理しやすくする。教師が、全体発表の場で、情報のまとめ方の見本を示す。教師がグループの話し合いに入り、助言しながら整理・分析させていくなどの手立てをとり、実践していくことが大切だと考えた。
- 「まとめ・発表」 学習のふりかえりや感想など通して、児童の考えや理解度を把握するだけでなく、児童のまとめから次の課題を見出し、学習が連続するような指導計画を立てた。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、課題解決型の学習に対して自分の考えをもって取り組むことのできる児童が多い。しかし、自分の考えに自信をもつことができない問題に対して、ノートに書いていても全体で発表することに抵抗を感じている児童が多いため、挙手をする児童に偏りがある。また、他の児童の考えに対して感嘆の声をあげたり、疑問を問いかけたりなどよく反応する児童に偏りがある。グループでの話し合い活動では、全体での話し合い活動と比べ、活発に発言する児童が多い。一方で、受け身となっている児童も若干名いる。

(3) 社会科の「見方・考え方」

小学校社会科における「見方・考え方」は、社会事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり、総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすることと示されている。

本研究では、「対話的な学び」を、社会的事象に対する考察・構想における教師と児童や児童同士の対話に焦点化し、授業を展開していくよう単元を構成した。本単元では、人々の暮らしに関わる道具や、人々の生活の様子、暮らしに対する人々の思いや工夫について、時期や時間の経過、事象相互の関係に着目して捉え、比較したり、総合したりする中で、暮らしに関わる道具の変化と暮らしの移り変わりについて考察することができるようにする。

(4) 単元について

昔の道具を提示し、これがどのように変化して今のどんな道具になっていくのかを考えると、学習展開が多い。しかし、昔の道具の使い方を知った時点で、今のどの道具に変わったのかはすぐに分かり、意欲を継続させることが難しいと考えた。そこで、本単元では、児童の身近で使われているスマートフォンに様々な機能があることから、それらは、もともとはどのような道具だったのかを、時間をさかのぼって考える活動をさせる計画とした。そうすることで、自分たちの知らない道具が現れ、単元全体を通して意欲的に学習に取り組めると考えた。また、その道具が発明されることにより、生活をどのように便利になり、どんな人々の願いを叶えてきたのかまで、学びの内容を深められると考えた。

(5) 手だて

本単元は、児童の保護者が実際に使っていた道具を調べるため、自分の家族から容易に道具の情報を収集できると考える。インターネットなどを活用して情報を収集するだけでなく、家庭学習で保護者や祖父母など、その道具に詳しい人から情報を集めることを中心に学習を進めた。

ロイロノートを活用して情報を写真に撮り、それを見ながら話し合ったり、自分の考えをまとめたりする。このことにより、情報を集約して学習を進められるようにした。また、同じ情報を見ながら話し合いが進められるようにした。

グループの話し合いの際に、一人一人に学習カードを配り、そこに自分の考えを書かせることで、積極的に発言ができない児童の考えも話し合いに反映されやすくなり、他人任せにならず主体的に学習に取り組んでいくと考えた。

3 本時の学習（6／9時間）

(1) 本時の目標

- ・道具を古い順に並べ変えた学習カードをもとに、道具の変化によりどのように暮らしが移り変わってきたのかを、グループで話し合う中で自分なりの考えをもつことができる。(思考・判断・表現)

(2) 授業の観点

【教科の視点】

- ・学習カードと道具調べカードを活用した話し合い活動は、道具の変化を比較・分類したり、人々の暮らしの移り変わりに関連付けたりすることに有効であったか。

【シンキング・サイクルの視点】

- ・道具ごとに良さの情報共有をし、道具の変化による暮らしの移り変わりを整理分析するサイクルを繰り返すことが、暮らしの変化と人々の願いを総合的に捉えられることにつながっていたか。

(3) 本時の展開

○学習活動	◇指導・支援 評価【評価規準】(方法)
<p>○前時までの学習を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">それぞれの道具の良さを見つけ、暮らしがどのように変化したのかを考えよう。</div> <p>○本時の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">課題設定</div>	<p>◇調べた道具調べカードを古い順に並び替えたことをおさえる。</p> <p>◇本時の流れ</p> <p>①分かったことや気が付いたことを話し合う。 ②暮らしがどのように変化したのかを話し合う。 ③ふりかえりカードを書き、発表する。</p>
<p>○それぞれの道具の良さや暮らしの変化についてグループで話し合う。</p> <p>【良さ】</p> <p>C: ①前の道具と比べ小さくなった。(音楽) C: ②前と比べて薄くなった。(テレビ) C: ③通信ができるようになった。(ゲーム)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">情報収集</div> <p>【暮らし】</p> <p>C: ①どこでも聴けるようになった。(音楽) C: ②部屋が広く使えるようになった (テレビ) C: ③家にいても友達と遊ぶことができるようになった。(ゲーム)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">整理・分析</div>	<p>◇話し合いがしやすいように、一人1台タブレットと、一人1枚学習カードを用意する。</p> <p>◇昔の道具の移り変わりから、暮らしの変化を考えさせる。</p>
<p>○本時の学習をふりかえりカードに書く。</p> <p>○ふりかえりを発表する。</p> <p>C: 道具の変化と暮らしの移り変わりには、関わりがあることが分かった。 C: 道具には昔の人の「もっとくらしをよくしたい」という願いが込められていることが分かった。 C: 道具の変化によって、暮らしが便利になったことが分かった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">まとめ・表現</div>	<p>◇「もっとくらしをよくしたい」という変わらない願いがあることについて考えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p>A: 一つ一つの道具の良さや暮らしの様子について考え、全体的な変化を捉えて、まとめることができる。</p> <p>B: 一つ一つの道具の良さや暮らしの様子について考え、まとめることができる。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】 (発言・学習カード・ふりかえりカード)</p> </div> <p>◇次時は、スマートフォンの各機能から、昔の道具について調べたことをグループごとにまとめることを確認する。</p>

(4) 板書計画

道具の良さを見つけ、くらしがどのように
変化したのかを考えよう。

【活動の流れ】

- ①分かったことや気がついたことを話し合う。
- ②くらしがどのように変化したのか話し合う。
- ③ふり返りカードを書き、発表する。

【ふりかえり】

- ・道具が変わって自分の時間がふえた。
- ・いろいろな人と交流ができるようになった。
- ・もちはこびがしやすくなった。
- ・どこでも使えるようになった。
- ・家が広く使えるようになった。



もっとくらしをよくしたいというねがい。